

今月はフードバンクを利用する母娘を描いた絵本をご紹介します。

『きょうはおかねがないひ』

ケイト・ミルナー／さく こでら あつこ／やく 合同出版 2020年 ¥1600(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★☆☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生★☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

お金がない日はお母さんとフードバンクに行く女の子のお話です。

フードバンクでは、ビスケットと甘いジュースがもらえるし、親切な人たちが持ってきてくれたものがもらえます。でも、女の子の好きなシリアルはありません。

帰り道で、女の子はお母さんと「いつかきつとごっこ」をします。いつかきつと、心配しないで毎日が暮らせて、猫が飼える生活がくることを信じて。

<子どもに手渡す時のポイント>

巻末には一般社団法人全国フードバンク推進協議会の解説がついているので、フードバンクについてより知りたい子には、そのページを紹介するとよいと思います。

SDGsの目標に「飢餓をゼロに」とあるように、現代社会における世界的な課題を描いていますが、主人公は愛情に包まれ、明るく希望に満ちており、悲観的になることのない絵本です。

SDGsを学ぶ機会などに、導入として読み聞かせをするのもよいかもしれません。

イギリスの優れた絵本画家に贈られるケイトグリーンウェイ賞の候補に選ばれています。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

